



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	181,786	△0.3	36,428	△4.1	28,339	4.2	28,370	4.2	71.02	70.84
2020年3月期第3四半期	182,326	5.3	37,980	8.3	27,206	6.0	27,229	6.1	68.22	68.02

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	181,786	△0.3	27,268	△5.8	26,963	△6.9	20,946	3.3	21,117	4.0	23,161	7.7
2020年3月期第3四半期	182,326	5.3	28,942	△14.0	28,964	△10.6	20,278	△13.2	20,301	△13.2	21,515	△1.0

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	52.86	52.74	50.71	50.71
2020年3月期第3四半期	50.86	50.71	50.71	50.71

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	413,087	314,730	315,221	76.3	789.11		
2020年3月期	408,768	302,560	302,865	74.1	758.50		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	13.00	-	14.00	27.00
2021年3月期	-	14.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△2.7	52,000	4.0	38,700	7.8	97.67

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△2.7	35,000	4.4	34,000	5.9	23,000	5.9	58.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

上記の業績予想は、当社において新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束時期を地域別に仮定を置いて見積もったものであり、実際の業績等は状況により変動する可能性があります。今後、変動額が通期業績予想の修正をすべき水準となった場合には、速やかに開示します。IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料 P 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

なお、第2四半期連結会計期間において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. を買収したことにより、同社および同社の子会社であるEyevance Pharmaceuticals LLCを新たに連結の範囲に含めています。

また、Verily Life Sciences LLCとの合併会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLCを設立したため、同社を新たに持分法適用の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	400,198,354株	2020年3月期	400,028,254株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	549,844株	2020年3月期	608,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	399,413,902株	2020年3月期3Q	399,115,964株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2020年3月期末 16,430株、2021年3月期3Q 18,230株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年2月4日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	8
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(企業結合)	14
(重要な後発事象)	16
3. 連結参考資料	18
(1) 主要製品売上収益	18
(2) 開発状況	19
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	21
(4) 主要通貨為替レート	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1 (P4参照)

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	182,326	181,786	△0.3%
コア営業利益	37,980	36,428	△4.1%
コア四半期利益	27,206	28,339	4.2%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	27,229	28,370	4.2%

[売上収益]

前年同期と比べ0.3%減少し、1,818億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の環境下でも堅調に推移し、前年同期と比べ1.1%増加し、1,705億円となりました。地域別には、日本、アジアで継続的に売上伸長しています。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段:金額

下段:対前年同期増減率

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	110,145	18,270	13,012	27,778	1,311	170,516
	2.1%	△5.4%	5.1%	△2.8%	119.2%	1.1%
一般用医薬品	7,130	—	256	—	—	7,386
	△25.9%	—	11.8%	—	—	△25.0%
医療機器	2,120	1	—	667	—	2,788
	△10.7%	—	—	111.8%	△100.0%	3.7%
その他	993	57	46	—	—	1,096
	1.2%	14.5%	△10.5%	—	—	1.3%
合計	120,388	18,328	13,314	28,446	1,311	181,786
	△0.4%	△5.4%	5.1%	△1.5%	119.0%	△0.3%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、ヨーロッパ、中東およびアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ2.1%増加し、1,101億円となりました。「アレジオン点眼液」については高濃度で効果の持続性が長い「アレジオンLX点眼液」を2019年11月に上市したこと、同年9月に田辺三菱製薬株式会社と締結した共同販売促進契約に基づく活動の効果により前年同期と比べ増収になりました。また、第1四半期において、「アイリーア硝子体内注射液※²(P4参照)」のプレフィルドシリンジ製剤である「アイリーア硝子体内注射用キット」を発売しました。なお、主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」	70億円	(対前年同期増減率 △ 3.4%)
「タプコム配合点眼液」	21億円	(対前年同期増減率 + 2.9%)
「コソプト配合点眼液」	57億円	(対前年同期増減率 △ 5.6%)
「エイベリス点眼液」	19億円	(対前年同期増減率 +64.5%)

・角結膜疾患治療剤領域

「ジクアス点眼液」	96億円	(対前年同期増減率 △15.4%)
-----------	------	-------------------

*2020年の薬価改定で市場拡大再算定を受け前年同期と比べ減少しましたが、数量ベースでは増加しています。

・抗アレルギー点眼剤領域

「アレジオン点眼液※ ³ (P4参照)」	127億円	(対前年同期増減率 +27.1%)
---------------------------------	-------	-------------------

・網膜疾患治療剤領域

「アイリーア硝子体内注射液※ ² 」	510億円	(対前年同期増減率 + 7.4%)
-------------------------------	-------	-------------------

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ5.4%減少し(為替影響を除いた成長率は△3.7%)、183億円となりました。なお、クラビット点眼液は、当第3四半期より集中購買による影響を受けつつも、私立病院や薬局など他のチャンネルでの拡販に注力しています。なお、主力製品の売上推移は次のとおりです。

・角結膜疾患治療剤領域

「ヒアレイン点眼液」	72億円	(対前年同期増減率 + 5.5%)
------------	------	-------------------

・眼感染症治療剤領域

「クラビット点眼液」	66億円	(対前年同期増減率 △21.3%)
------------	------	-------------------

◇アジア(中国除く)

円換算ベースで前年同期と比べ5.1%増加し(為替影響を除いた成長率は+7.6%)、130億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」	14億円	(対前年同期増減率 △ 1.1%)
「タプコム配合点眼液」	4億円	(対前年同期増減率 +33.9%)
「コソプト配合点眼液」	33億円	(対前年同期増減率 + 7.4%)

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ2.8%減少し(為替影響を除いた成長率は△3.8%)、278億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」	51億円	(対前年同期増減率 + 1.0%)
「タプコム配合点眼液」	22億円	(対前年同期増減率 +16.0%)
「コソプト配合点眼液」	72億円	(対前年同期増減率 △ 1.3%)
「トルソプト点眼液」	22億円	(対前年同期増減率 + 1.1%)

・角結膜疾患治療剤領域

「Ikervis(アイケルビス)」	27億円	(対前年同期増減率 +17.2%)
-------------------	------	-------------------

◇米州

円換算ベースで13億円となりました。なお、米州の売上収益に含まれる、第2四半期に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の売上収益は5億円です。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ25.0%減少し、74億円となりました。

インバウンド需要の減退などにより減収となりましたが、「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。なお、第2四半期においては、ヒアレイン点眼液0.1%のスイッチOTC医薬品「ヒアレインS」を発売しました。

<医療機器>

前年同期と比べ3.7%増加し、28億円となりました。

眼内レンズの「レンティス コンフォート」と「エタニティ」シリーズの普及促進活動に注力しています。

<その他>

その他の売上収益は11億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ1.9%減少し、1,059億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ1.9%減少し、518億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ2.9%増加し、177億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ4.1%減少し、364億円となりました。

※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・ 製品に係る無形資産償却費
- ・ その他の収益
- ・ その他の費用
- ・ 金融収益
- ・ 金融費用
- ・ 持分法による投資損益
- ・ 販売費及び一般管理費のうち企業買収などに係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

※3 アレジオンLX点眼液を含みます。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	182,326	181,786	△0.3%
営業利益	28,942	27,268	△5.8%
四半期利益	20,278	20,946	3.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	20,301	21,117	4.0%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益について、コアベースからの調整はありません。

IFRS（フル）ベースの販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ微減の528億円となりました。コアベースの販売費及び一般管理費に加え、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の買収に伴う一過性の費用等が10億円発生しました。

研究開発費は、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ0.4%減少し、74億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（米国）から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、ならびに2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得した「DE-128（PRESERFLO MicroShunt）」に関する無形資産（2019年4月より償却開始）の償却によるものです。

その他の収益は、5億円となりました。

その他の費用は、13億円となりました。これは主に、InnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値変動額のうち時間的価値以外の変動によるものです。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ5.8%減少し、273億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、10億円となりました。これは主に、保有する投資有価証券に係る受取配当金によるものです。

金融費用は、11億円となりました。これは主に、為替差損とInnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値変動額のうち時間的価値の変動によるものです。

持分法による投資損失は、2億円となりました。

法人所得税費用は、60億円となりました。グループ内の法人の利益構成比の変動等により、税負担率が、前年同期より減少しました。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ3.3%増加し、209億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ4.0%増加し、211億円となりました。売上収益に対するその比率は、11.6%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジン $F_2\alpha$ 誘導体および β 遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2020年11月に販売承認を申請しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、2019年12月以降韓国などで販売承認を取得しています。韓国で2021年2月に上市しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：sepetaprost）は、米国で2020年12月に追加の第Ⅱ相試験を開始しました。日本では、後期第Ⅱ相試験を完了しています。

緑内障用デバイスSTN2000100（DE-128）は、米国で2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了しました。欧州では、2019年4月に発売しました。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請しています。カナダで、2020年10月に販売承認を申請しました。

プロスタグランジン $F_2\alpha$ 誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、欧州およびアジアで2019年4月に第Ⅲ相試験を開始しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：netarsudil dimesylate）は、日本で2020年11月に第Ⅲ相試験を開始しました。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2020年3月に第Ⅲ相試験を開始しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

ぶどう膜炎を対象とするSTN1010900（DE-109、一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月に追加の第Ⅲ相試験を開始しました。

<その他疾患領域>

近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。日本では、2019年8月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。

白内障手術後無水晶体眼に挿入する乱視用（トーリック）眼内レンズMD-16は、日本で2020年11月に発売しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXXXXXX）を併記しています。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、4,131億円となりました。現金及び現金同等物の減少などがあった一方、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の買収等に伴う無形資産の増加などにより前期末と比べ43億円増加しました。

資本は、3,147億円となりました。利益剰余金の増加などにより前期末と比べ122億円増加しました。

負債は、984億円となりました。InnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値の変動および支払による金融負債および未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ79億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.2ポイント増加し、76.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、238億円の収入（前年同期は、274億円の収入）となりました。主に四半期利益が209億円、減価償却費及び償却費124億円、法人所得税の支払124億円、法人所得税費用60億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、503億円の支出（前年同期は、35億円の支出）となりました。主にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の買収に伴う子会社株式の取得による支出239億円およびjCyte, Inc.（米国）とのライセンス契約に伴う無形資産の取得による支出55億円、Aerie Pharmaceuticals, Inc.（米国）とのライセンス契約に伴う無形資産の取得による支出52億円などの無形資産の取得による支出183億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、130億円の支出（前年同期は、115億円の支出）となりました。主に配当金の支払い111億円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ385億円減少し、529億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2020年5月8日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	182,326	181,786
売上原価	△74,357	△75,897
売上総利益	107,968	105,889
販売費及び一般管理費	△52,835	△52,821
研究開発費	△17,153	△17,653
製品に係る無形資産償却費	△7,412	△7,381
その他の収益	289	524
その他の費用	△1,915	△1,290
営業利益	28,942	27,268
金融収益	874	1,017
金融費用	△853	△1,147
持分法による投資損失	—	△175
税引前四半期利益	28,964	26,963
法人所得税費用	△8,686	△6,017
四半期利益	20,278	20,946
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	3,303	1,619
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△2,066	597
その他の包括利益	1,237	2,215
四半期包括利益合計	21,515	23,161
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	20,301	21,117
非支配持分	△23	△171
四半期利益	20,278	20,946
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	21,622	23,348
非支配持分	△107	△186
四半期包括利益合計	21,515	23,161
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	50.86	52.86
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	50.71	52.74
＜コアベース＞		
売上収益	182,326	181,786
コア営業利益	37,980	36,428
コア四半期利益	27,206	28,339
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	68.22	71.02
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	68.02	70.84
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	27,229	28,370
非支配持分	△23	△30
コア四半期利益	27,206	28,339

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	35,601	35,648
無形資産	119,850	150,786
金融資産	30,848	33,170
持分法で会計処理されている投資	—	5,004
繰延税金資産	2,100	2,802
その他の非流動資産	1,813	1,786
非流動資産合計	190,212	229,195
流動資産		
棚卸資産	35,282	37,913
営業債権及びその他の債権	86,999	86,334
その他の金融資産	452	579
その他の流動資産	4,392	6,154
現金及び現金同等物	91,430	52,913
流動資産合計	218,556	183,892
資産合計	408,768	413,087

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,366	8,446
資本剰余金	8,746	8,842
自己株式	△1,033	△934
利益剰余金	273,422	284,558
その他の資本の構成要素	13,364	14,310
親会社の所有者に帰属する持分合計	302,865	315,221
非支配持分	△305	△491
資本合計	302,560	314,730
負債		
非流動負債		
金融負債	27,592	25,281
退職給付に係る負債	1,738	2,014
引当金	570	597
繰延税金負債	7,228	7,244
その他の非流動負債	1,483	1,202
非流動負債合計	38,611	36,338
流動負債		
営業債務及びその他の債務	32,578	30,192
その他の金融負債	18,777	20,166
未払法人所得税等	6,848	2,444
引当金	633	681
その他の流動負債	8,761	8,537
流動負債合計	67,597	62,020
負債合計	106,208	98,357
資本及び負債合計	408,768	413,087

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	8,252	8,661	△1,131	258,659	—	10,230
四半期包括利益						
四半期利益				20,301		
その他の包括利益						3,303
四半期包括利益合計	—	—	—	20,301	—	3,303
所有者との取引額						
新株の発行	45	45				
自己株式の取得				△22		
自己株式の処分		△99	121			
配当金				△10,379		
株式報酬取引		76				
その他				1,326		△1,326
所有者との取引額合計	45	22	99	△9,053	—	△1,326
2019年12月31日残高	8,296	8,683	△1,033	269,907	—	12,207

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2019年4月1日残高	5,428	802	16,461	290,900	1,672	292,572
四半期包括利益						
四半期利益			—	20,301	△23	20,278
その他の包括利益	△1,981		1,322	1,322	△84	1,237
四半期包括利益合計	△1,981	—	1,322	21,622	△107	21,515
所有者との取引額						
新株の発行		△62	△62	28		28
自己株式の取得			—	△22		△22
自己株式の処分			—	22		22
配当金			—	△10,379		△10,379
株式報酬取引			—	76		76
その他			△1,326	—		—
所有者との取引額合計	—	△62	△1,388	△10,275	—	△10,275
2019年12月31日残高	3,447	740	16,394	302,248	1,565	303,813

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	8,366	8,746	△1,033	273,422	—	11,150
四半期包括利益						
四半期利益				21,117		
その他の包括利益						1,619
四半期包括利益合計	—	—	—	21,117	—	1,619
所有者との取引額						
新株の発行	80	80				
自己株式の取得				△3		
自己株式の処分		△43	102			
配当金				△11,187		
株式報酬取引		59				
その他				1,206		△1,206
所有者との取引額合計	80	96	98	△9,981	—	△1,206
2020年12月31日残高	8,446	8,842	△934	284,558	—	11,563

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2020年4月1日残高	1,529	686	13,364	302,865	△305	302,560
四半期包括利益						
四半期利益			—	21,117	△171	20,946
その他の包括利益	612		2,231	2,231	△16	2,215
四半期包括利益合計	612	—	2,231	23,348	△186	23,161
所有者との取引額						
新株の発行		△79	△79	80		80
自己株式の取得			—	△3		△3
自己株式の処分			—	59		59
配当金			—	△11,187		△11,187
株式報酬取引			—	59		59
その他			△1,206	—		—
所有者との取引額合計	—	△79	△1,285	△10,992	—	△10,992
2020年12月31日残高	2,141	606	14,310	315,221	△491	314,730

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	20,278	20,946
減価償却費及び償却費	12,344	12,393
減損損失	—	287
持分法による投資損益（△は益）	—	175
金融収益及び金融費用（△は益）	△578	△538
法人所得税費用	8,686	6,017
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	△2,856	1,597
棚卸資産の増減（△は増加）	1,560	△1,560
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△1,337	△2,796
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	△405	237
その他	2,607	△984
小計	40,299	35,773
利息の受取額	128	101
配当金の受取額	578	487
利息の支払額	△129	△119
法人所得税の支払額	△13,513	△12,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,362	23,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△149	△2,728
投資の売却による収入	2,616	2,595
子会社株式の取得による支出	—	△23,893
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	—	△5,349
有形固定資産の取得による支出	△4,653	△2,645
無形資産の取得による支出	△2,300	△18,275
その他	959	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,528	△50,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	917	254
配当金の支払額	△10,309	△11,124
リース負債の返済による支出	△2,129	△2,164
その他	6	77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,514	△12,956
現金及び現金同等物の増減額	12,320	△39,443
現金及び現金同等物の期首残高	70,796	91,430
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△521	926
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,595	52,913

- (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(企業結合)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(1) 企業結合

(Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. およびEyevance Pharmaceuticals LLCの取得)

① 企業結合の概要

(a) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称: Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.
 Eyevance Pharmaceuticals LLC

事業の内容: 最適な視力とより高いQOL(生活の質)実現に向けた、革新的でインパクトのある点眼用眼科製品の開発・販売

(b) 企業結合を行った理由

Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) およびEyevance Pharmaceuticals LLC (米国) は、眼表面および前眼部の領域において、点眼薬の開発・販売を行っており、現在は、抗炎症、抗アレルギー、抗真菌、涙液の潤滑のための点眼薬、および抗菌と抗炎症の配合点眼薬を提供しています。また、米国全土の眼科医、検眼医、アレルギーを専門とする医師を対象とした同社のナショナルセールsteamが、その販売活動を担っています。

Santenグループは、本買収を通じて、米国での事業基盤を早期に確立し、より多くの患者さんのニーズに真摯に向き合い、さらなる価値を提供します。同時に、米国へのアクセス、そしてプレゼンスを獲得することで、グローバルにおける事業展開を加速させ、眼科医療への一層の貢献とさらなる企業成長を目指します。

(c) 取得日

2020年9月16日(米国時間)

(d) 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価としてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. の発行済株式の100%を取得しています。

(e) 取得した議決権付資本持分割合

100%

② 取得資産及び負債の公正価値、取得対価の内訳

（単位：百万円）

	暫定的な公正価値
非流動資産	4,433
流動資産	838
現金及び現金同等物	1,099
非流動負債	△203
流動負債	△564
のれん	19,390
合計	24,992
現金	24,992
取得対価合計	24,992

これらの金額は、要約四半期連結財務諸表の作成時点において、評価検証が未了のため、暫定的な金額で報告しています。

当該企業結合に係る取得関連費用として853百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

③ キャッシュ・フロー情報

（単位：百万円）

	金額
支払対価の公正価値の合計	24,992
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△1,099
子会社株式の取得による支出	23,893

④ Santenグループの業績に与える影響

要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. およびEyevance Pharmaceuticals LLCから生じた損益は以下のとおりです。

売上収益：499百万円

四半期利益：△489百万円

なお、当該企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。（非レビュー情報）

売上収益：1,251百万円

四半期利益：△2,170百万円

（重要な後発事象）

（1）単独株式移転による持株会社体制への移行に関する準備開始

当社は、2021年2月4日開催の取締役会において、2022年4月1日（予定）を目途に持株会社体制に移行するため、その準備を開始することを決議しました。なお、持株会社体制への移行は、2021年12月21日に開催予定の臨時株主総会における承認が得られることを条件に実施する予定です。

① 持株会社体制への移行の背景

当社は、2010年策定の長期ビジョン「Vision2020」における「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現を目指し、事業のグローバル化を推進してきました。現在、連結子会社は国内外合わせて31社、製品の販売国および地域は60以上、売上収益は2,416億円、その規模は過去十年間で約二倍となり、策定当初の想定を上回る成長を遂げました。※¹とりわけ、海外事業については売上比率が32%に達し、地域軸での事業の広がりが当社成長の大きな原動力となりました。※¹また、事業領域においても、眼科デジタルデバイスの開発・商業化を目指した合弁会社設立や遺伝子治療・細胞治療の最先端技術活用に着手する等、これまでの基盤事業である医療用医薬品以外へのポートフォリオの拡大を通じて、事業軸での多様化を行ってきました。昨年策定した2030年とその先を見据えた長期ビジョン「Santen2030」では、製薬の枠を越え、目の疾患や不具合の解消に必要な製品、サービスを幅広く提供できるSocial Innovatorとして革新的な価値を世界中の人々にお届けすることを標榜しています。この当社のビジョンを着実に実行すべく、地域軸・事業軸ともに広がりつつある事業群を機動的に束ね、スピーディで効率的な戦略実行を可能とする経営・組織体制の構築・強化を目的に、このたび持株会社体制への移行を決定しました。

② 持株会社体制への移行の目的

- ・ グローバル視点のコーポレート本社機能強化
- ・ 迅速な意思決定の促進および地域・事業間での有機的な連携強化
- ・ グループガバナンス機能強化・全社戦略の浸透促進

③ 持株会社体制への移行方法とスケジュール

当社を株式移転完全子会社とする単独株式移転により持株会社を設立することで、持株会社体制に移行する予定です。この結果、当社普通株式は上場廃止となりますが、当社の株主の皆様は新たに交付される持株会社の普通株式については、東京証券取引所第一部にテクニカル上場を申請し、引き続き同市場第一部に上場することを予定しているため、実質的には株式の上場を維持する方針です。※²

<スケジュール>

2021年9月1日（予定）	持株会社体制への移行に関する取締役会
2021年9月30日（予定）	持株会社体制への移行に関する臨時株主総会基準日
2021年12月21日（予定）	持株会社体制への移行に関する臨時株主総会
2022年4月1日（予定）	持株会社体制への移行

④ 今後の見通し

持株会社体制への移行に関する詳細については現時点で未定であり、今後、具体的に検討していく予定です。また、第110期業績見通しについては、2021年5月に開示予定の「2021年3月期決算短信」で公表する予定です。

※1 2019年度実績

※2 現時点の市場区分に基づく

(2) 決算期（事業年度の末日）変更に関する準備開始

当社は、2021年2月4日開催の取締役会において、2021年6月25日に開催予定の第109期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更することを決議しました。

① 目的

1月 - 12月期への決算期変更によるグローバル化のさらなる推進

② 決算期変更の内容

現在：毎年3月31日

変更後：毎年12月31日

決算期変更の経過期間となる第110期は、2021年4月1日から2021年12月31日までの9カ月決算となる予定です。また、現在、決算期が12月31日以外の連結子会社についても同様の変更を行う予定です。

③ 定款の一部変更について

上述の決算期変更に伴い、定款の変更を行う予定です。2021年5月開催予定の取締役会において、2021年6月25日に開催予定の第109期定時株主総会の議案として「定款一部変更の件」を決議した後、速やかに開示する予定です。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位: 百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効領域	地域	2020年3月期				2021年3月期			
			第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	12,844	11.6%	15,181	1.0%	10,450	△18.6%	12,093	△20.3%
		日本	2,101	△18.2%	2,571	△19.0%	1,607	△23.5%	1,872	△27.2%
		中国	8,390	25.3%	9,509	7.3%	6,607	△21.3%	7,273	△23.5%
		アジア	1,262	15.0%	1,726	13.3%	1,411	11.8%	1,946	12.7%
		EMEA	1,092	△5.0%	1,375	△6.3%	826	△24.3%	1,001	△27.2%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	1,158	2.5%	1,472	1.9%	1,205	4.1%	1,367	△7.1%
		日本	339	△13.1%	414	△14.0%	276	△18.5%	290	△29.9%
		中国	502	6.9%	585	△2.4%	507	1.0%	554	△5.3%
		アジア	317	17.3%	473	30.0%	421	33.1%	523	10.5%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	4,185	15.8%	5,405	12.9%	4,642	10.9%	5,665	4.8%
		日本	2,008	0.3%	2,521	△1.1%	2,065	2.9%	2,294	△9.0%
		アジア	292	32.0%	383	24.2%	391	33.9%	515	34.4%
		EMEA	1,885	35.7%	2,501	29.6%	2,186	16.0%	2,856	14.2%
		合計	14,057	0.8%	17,901	△0.6%	13,922	△1.0%	17,306	△3.3%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	日本	7,268	△3.4%	9,123	△4.5%	7,022	△3.4%	8,476	△7.1%
		中国	311	99.2%	395	73.5%	387	24.3%	704	78.1%
		アジア	1,439	1.7%	1,892	1.9%	1,422	△1.1%	1,940	2.5%
		EMEA	5,040	4.0%	6,491	1.8%	5,090	1.0%	6,187	△4.7%
		合計	16,361	△3.5%	21,045	△4.3%	16,152	△1.3%	20,636	△1.9%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	日本	6,006	△17.1%	7,723	△13.4%	5,669	△5.6%	7,002	△9.3%
		アジア	3,032	9.5%	4,052	10.3%	3,257	7.4%	3,975	△1.9%
		EMEA	7,323	5.5%	9,270	△1.3%	7,227	△1.3%	9,659	4.2%
		合計	1,967	△13.2%	2,504	△12.9%	1,723	△12.4%	2,039	△18.6%
		日本	1,097	△16.9%	1,349	△18.0%	927	△15.5%	948	△29.7%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (* チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	アジア	169	△0.5%	226	2.2%	192	13.6%	260	15.3%
		EMEA	701	△9.6%	929	△7.8%	604	△13.8%	831	△10.5%
		合計	3,551	3.3%	4,424	△3.5%	3,429	△3.4%	3,889	△12.1%
		日本	1,075	△8.5%	1,350	△8.4%	1,001	△6.9%	1,054	△21.9%
		アジア	330	9.7%	411	△1.0%	258	△21.7%	301	△26.8%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	EMEA	2,146	9.5%	2,663	△1.3%	2,170	1.1%	2,534	△4.9%
		合計	1,181	337.8%	1,629	278.1%	1,943	64.5%	2,716	66.7%
		日本	1,181	337.8%	1,629	278.1%	1,943	64.5%	2,716	66.7%
		合計	9,968	29.4%	24,916	28.1%	12,672	27.1%	28,761	15.4%
		日本	9,968	29.4%	24,916	28.1%	12,672	27.1%	28,741	15.4%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液) (* アレジオンLX点眼液を含む)	抗アレルギー点眼剤	アジア	—	—	—	—	—	20	—	
		合計	2,381	△0.8%	2,996	△9.3%	2,121	△10.9%	2,713	△9.5%
		日本	942	△16.8%	1,272	△22.5%	744	△21.0%	1,003	△21.1%
		中国	1,030	10.1%	1,243	0.9%	1,073	4.2%	1,357	9.2%
		アジア	409	23.5%	482	11.9%	304	△25.7%	353	△26.6%
ピレノキシン懸濁性点眼液 (旧販売名: カリユニ点眼液) (ピレノキシン点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	3,218	0.6%	4,056	△0.5%	3,097	△3.8%	3,543	△12.7%
		日本	2,003	△3.2%	2,501	△4.0%	1,910	△4.6%	2,200	△12.0%
		中国	593	△0.1%	704	△7.4%	581	△2.1%	531	△24.6%
		アジア	622	16.2%	852	19.6%	605	△2.7%	812	△4.7%
		合計	1,946	△0.0%	2,241	△6.5%	1,385	△28.8%	1,903	△15.1%
Oftan Catachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	EMEA	1,946	△0.0%	2,241	△6.5%	1,385	△28.8%	1,903	△15.1%
		合計	2,093	24.3%	2,672	24.0%	1,750	△16.4%	2,096	△21.5%
		日本	2,093	24.3%	2,672	24.0%	1,750	△16.4%	2,096	△21.5%
		合計	47,425	8.3%	60,138	7.1%	50,955	7.4%	60,815	1.1%
		日本	47,425	8.3%	60,138	7.1%	50,955	7.4%	60,815	1.1%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	14,607	△2.3%	17,609	△6.8%	14,731	0.9%	17,601	△0.0%
		日本	6,300	△9.2%	7,849	△10.4%	5,576	△11.5%	6,227	△20.7%
		中国	6,827	18.1%	7,856	3.8%	7,205	5.5%	9,201	17.1%
		アジア	1,481	△33.4%	1,904	△26.0%	1,951	31.7%	2,174	14.2%
		合計	12,896	9.6%	15,970	3.9%	11,112	△13.8%	14,288	△10.5%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	日本	11,378	5.5%	14,257	2.3%	9,620	△15.4%	12,209	△14.4%
		中国	139	964.1%	167	561.1%	410	194.6%	558	233.9%
		アジア	1,378	42.8%	1,546	9.7%	1,082	△21.5%	1,521	△1.6%
		合計	2,855	18.2%	3,851	13.6%	3,336	16.9%	4,617	19.9%
		アジア	561	72.9%	738	60.9%	647	15.5%	965	30.8%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	EMEA	2,294	9.7%	3,113	6.2%	2,689	17.2%	3,652	17.3%
		合計	2,225	18.8%	2,912	15.9%	2,366	6.3%	3,419	17.4%
		アジア	220	85.4%	265	57.7%	199	△9.4%	293	10.7%
		EMEA	1,547	2.9%	2,092	5.2%	1,494	△3.4%	2,324	11.1%
		米州	459	82.8%	555	56.3%	673	46.7%	802	44.4%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	773	—	1,065	728.6%	829	7.1%	1,138	6.8%
		日本	773	—	1,065	728.6%	829	7.1%	1,138	6.8%
		合計	9,845	△12.3%	12,034	△15.4%	7,386	△25.0%	9,300	△22.7%
		日本	9,616	△12.7%	11,722	△15.8%	7,130	△25.9%	9,000	△23.2%
		アジア	229	5.9%	312	6.5%	256	11.8%	300	△3.9%
一般用医薬品		合計	9,845	△12.3%	12,034	△15.4%	7,386	△25.0%	9,300	△22.7%
		日本	9,616	△12.7%	11,722	△15.8%	7,130	△25.9%	9,000	△23.2%
		アジア	229	5.9%	312	6.5%	256	11.8%	300	△3.9%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については当初想定為替レートで換算して表示しています。

(2) 開発状況

2021年1月時点

■開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本						
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2020年3月にフェーズ3試験を開始。										
シロリムス	STN1010900 / DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
タフルプロスト / テモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										
オミデネパグ イソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国				2020年11月		
				日本					2018年11月	
				アジア					2019年12月	
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2020年11月に販売承認を申請。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国などで2019年12月以降、順次販売承認を取得。										
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本		(フェーズ2b)				
FP受容体およびEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で2020年12月に追加フェーズ2試験を開始。日本で、フェーズ2b試験を完了。										
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本		(フェーズ2/3)				
				アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2/3試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										
—	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
緑内障用デバイス	STN2000100 / DE-128	緑内障	自社	米国						2020年6月
				欧州						2019年4月
				アジア						2020年3月
				その他						2020年10月
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。米国で、2020年6月に市販前承認(PMA)の段階的申請を完了。欧州にて2019年4月に発売。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請。カナダで、2020年10月に販売承認を申請。										
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil dimesylate	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。日本で、2020年11月にフェーズ3試験を開始。										

—	開発品名	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
眼内レンズ	MD-16	白内障	Oculentis社	日本						2020年11月
白内障手術後無水晶体眼に挿入する、乱視用（トーリック）眼内レンズ。日本で、2020年11月に発売。										

■2020年度第2四半期決算発表時（2020年11月6日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1011700 / DE-117	米国で、2020年11月に販売承認を申請。
STN1012600 / DE-126	米国で、2020年12月に追加のフェーズ2試験を開始。
STN2000100 / DE-128	カナダで、2020年10月に販売承認を申請。
STN1013900 / AR-13324	日本で、2020年11月にフェーズ3試験を開始。
MD-16	日本で、2020年11月に発売。

開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXXXX）を併記しています。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2020年3月期		2021年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	6,650	8,971	5,747	10,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2020年3月期		2021年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総 額	3,170	4,267	3,206	4,710
製 造 経 費	1,585	2,144	1,643	2,310
販 売 管 理 費	1,100	1,462	1,107	1,720
研 究 開 発 費	485	661	456	680

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2020年3月期		2021年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総 額	7,412	9,898	7,381	9,700
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	4,356	5,808	4,356	5,740
D E - 1 2 8 * 無 形 資 産 償 却 費	2,091	2,798	2,044	2,830
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	514	684	520	710
そ の 他	452	608	462	420

*DE-128（PRESERFLO MicroShunt）

■研究開発費

（単位：百万円）

	2020年3月期		2021年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	17,153	23,341	17,653	23,000
対 売 上 収 益 比	9.4%	9.7%	9.7%	9.8%

（4）主要通貨為替レート

（単位：円）

通貨	2020年3月期 第3四半期	2020年3月期	2021年3月期 第3四半期	2021年3月期 (予想)
米ドル	108.87	108.81	105.96	110.00
ユーロ	121.06	120.80	122.34	120.00
中国元	15.66	15.64	15.38	15.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。